

| 出題分析 | | | |
|---|---------------|-------------|---------------|
| 試験時間 | 120 分 | 配点 | 学部・学科による※ |
| | | 大問数 | 4 題 |
| 分量（昨年比較） | 〔 減少 同程度 増加 〕 | 難易度変化（昨年比較） | 〔 易化 同程度 難化 〕 |
| 【概評】 昨年は、大問Ⅳで出題されていた自由英作が長文読解の大問Ⅱの設問として組み込まれて、3 題構成になったが、今年は、長文読解 2 題、和文英訳、自由英作という 4 題構成に戻った。また、空欄補充が消え、論述問題のみになり、久々に説明問題が出題された。大問Ⅳの自由英作については、解答の構成について詳細な条件が付された。こうした丁寧な指示を含め、今回の入試問題は受験生に取り組みやすいものであったと言えそうである。 | | | |

※募集要項を参照。

| 設問別講評 | | | |
|-------|---|--|-----|
| 問題 | 出題分野・テーマ | 設問内容・解答のポイント | 難易度 |
| I | 長文読解 「消滅の危機にさらされる言語」 ○ 語数：550 語 (昨年) 686 語 | すべての言語に言語学的な優劣はないこと、また、少数の話者しか持たない言語は世界に数多くあり、それらが消滅の危機にさらされているということを述べた文章。(1)は言いたい内容をとるのはそれほど難しくはないが、日本語に訳しにくい。(2)は意味を把握したうえで、自分の言葉で表現する力が問われている。(3)は it が linguistic diversity だと気づくことがポイント。 | やや易 |
| II | 長文読解 「ビッグバン理論について」 ○ 語数：589 語 (昨年) 528 語 | 「ビッグバン」という名称について違和感を抱いている筆者がビッグバン理論について述べた文章。(1)の説明問題は直前の内容をまとめればよい。(2)の big や bang はあえて訳さずにカタカナで書いたほうが原文の意味に忠実である。「ビッグ」は日本語話者なら誰でも知っている言葉で、「バン」は万国共通の擬音語だからだ。(3)の general 「大まかな」は宇宙の誕生に伴う出来事の概略を表す。 | 標準 |
| III | 和文英訳 「表情を変えると気分も変わる」 | 総じて取り組みやすい内容。「一般的なイメージ以上に」だが、英語の image は名詞である点に注意。動詞は imagine だが、ここは believe を使ってもよいだろう。英語の「口角」は the corners of one's mouth だがやや難しい。「前向きな気持ち」は feel (more) positive のように表すことができる。 | 標準 |

| 設問別講評 | | | |
|-------|-------------------------------|---|----|
| IV | 自由英作文 「人工知能は人間の想像力を豊かにするか」 | 「人工知能の普及によって人間の想像力は豊かになるか」に対して賛成か反対いずれかの立場で書かせるエッセーライティングの形式。賛成の立場なら「これまでの科学技術同様に人間の可能性の幅を広げてくれる」のように書くこともできるし、反対の立場なら「AIに任せきりになって自分の頭を使わなくなる」のように書くこともできる。 | 標準 |

| 設問構成（設問数・形式・内容） | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|----|------|----------|-----|
| 大問番号 | 設問数 | 選択式 | | | | | | 記述式 | | | | |
| | | 空欄補充 | 同義選択 | 内容説明 | 内容一致 | 語句整序 | その他 | 和訳 | 英訳 | 自由英作 | 内容(理由)説明 | その他 |
| I | 3 | | | | | | | 3 | | | | |
| II | 3 | | | | | | | 2 | | | 1 | |
| III | 1 | | | | | | | | 1 | | | |
| IV | 1 | | | | | | | | | 1 | | |

| 合格のための学習法 |
|--|
| <p>重厚かつ難解な英文を読ませ、比較的長い英文を書かせる京大入試で高得点を取るためには、1学期の前半に暗記ではなく理解を中心とした英文法を体系的に身につけることが重要である。同時に、過去問や予備校の授業などを利用して、辞書を引ながらじっくり時間をかけて英文を読み書きしていこう。その際、量やスピードよりも正確さを大切にしよう。少ない問題をゆっくりでもよいので正確に読めるようになれば、必要な量やスピードは後から自然についてくる。もちろん、受験勉強の全期間を通して、単語・熟語の暗記を毎日続けることも忘れずに。「継続は力なり」とはよく言ったもので、焦ることなくこうした勉強を数か月間コツコツ続けることが合格へのいちばんの近道である。日々の一見地味に思えるそのような勉強の中に無限の世界を見出し、その探求を楽しめる人間になることが京大合格の大きな条件だ。</p> |